様式第３（第６条関係）

記入例

特定施設の種類及び能力ごとの数 / 特定施設の使用の方法 変更届出書

令和〇〇年△△月□□日

川　口　市　長　殿

届出者　氏名又は名称及び住所並びに法人にあつては その代表者の氏名　〇〇県〇〇市〇〇－△△－△△
□□金属加工　株式会社
代表取締役　□□　〇〇
（電話番号　〇〇〇－△△△－□□□□　）

振動規制法第８条第１項の規定により 特定施設の種類及び能力ごとの数 / 特定施設の使用の方法 の変更について次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	□□金属加工株式会社　△△工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	川口市〇〇－△△－□□	※受理年月日	年　月　日
		※施設番号	
		※審査結果	
		※備考	

特定施設の種類[備考2]	型式	公称能力	数		使用開始時刻		使用終了時刻	
			変更前	変更後	変更前(時･分)	変更後(時･分)	変更前(時･分)	変更後(時･分)
１－イ　液圧プレス	〇〇社製 △△－××　〇〇kN		2	1	8:30	8:30	17:30	19:00
この枠に書ききれない場合 別紙2に記載	公称能力の単位	機械・液圧プレス	〇〇kN		使用する可能性がある最長の使用時間を記載			
		鍛造機	△△t					
		それ以外	□□kW					

特定施設の種類等を記載する際は、別紙２も参照してください

備考　1　特定施設の種類及び能力ごとの数又は特定施設の使用の方法に変更がある場合であつても、振動規制法第８条第１項ただし書の規定により届出を要しないこととされるときは、当該特定施設の種類については、記載しないこと。
2　特定施設の種類の欄には、振動規制法施行令別表第１に掲げる項番号及びイ、ロ、ハ等の細分があるときはその記号並びに名称を記載すること。
3　※印の欄には、記載しないこと。
4　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

同じ施設であっても騒音と振動で「特定施設の種類」の記載内容が異なる場合があるので注意してください。

	騒音規制法	振動規制法
例１	１－ホ　機械プレス	１－ロ　機械プレス
例２	２　空気圧縮機	２　圧縮機

別　紙

記入例

振　動　の　防　止　の　方　法

機械・液圧プレスの振動防止について

１．敷地境界線から〇〇ｃｍ以上距離を確保する。

２．機械・液圧プレスの下にゴムマットを設置し、振動低減に努める。

圧縮機の振動防止について

１．敷地境界線から〇〇ｃｍ以上距離を確保した機械室に設置する。

２．圧縮機の下にゴムマットを設置し、振動低減に努める。

３．低振動型のスクリューコンプレッサーを導入する。

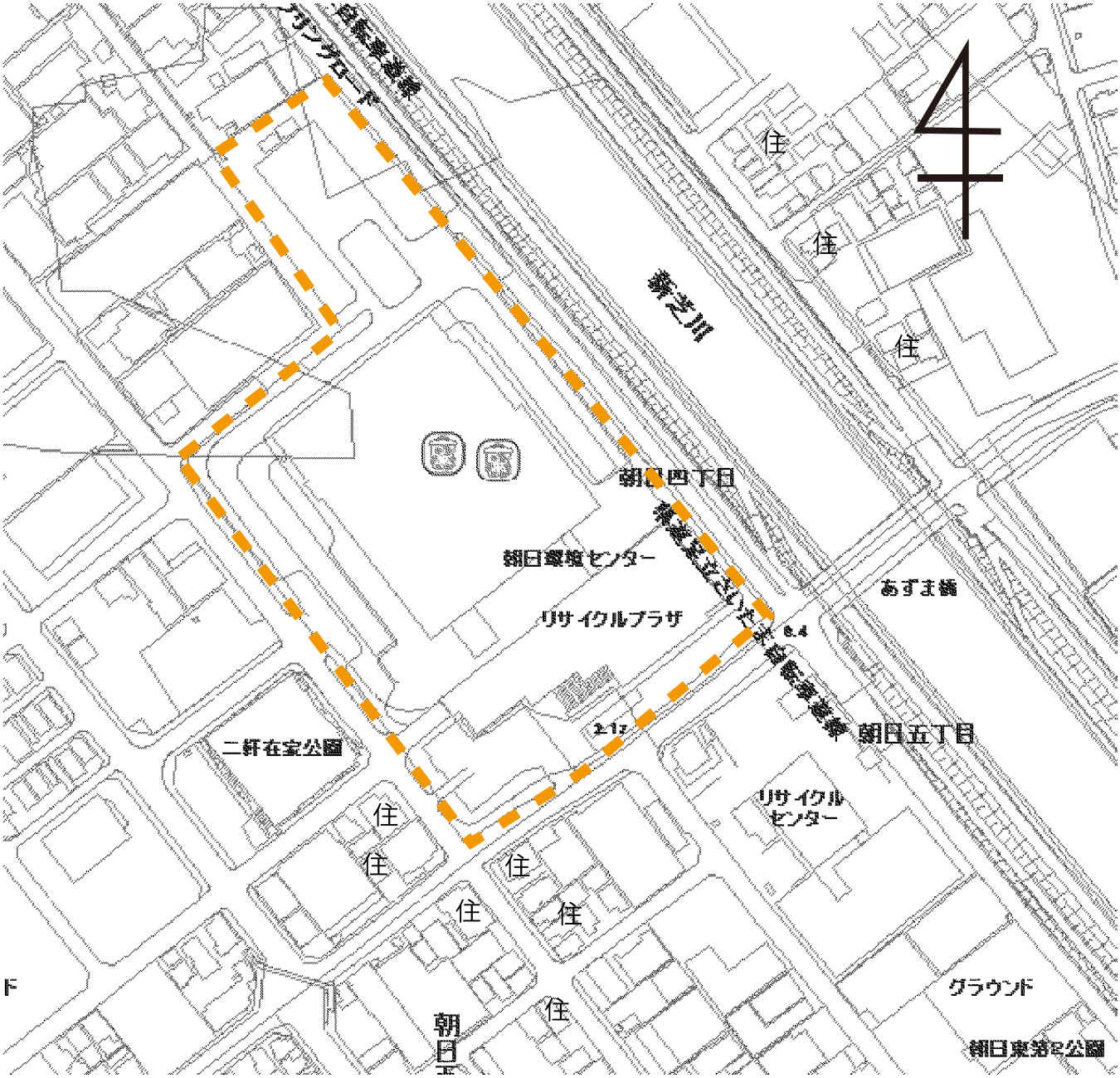
記入例

別　紙２　　対象施設数一覧表　１　枚目／　１　枚中

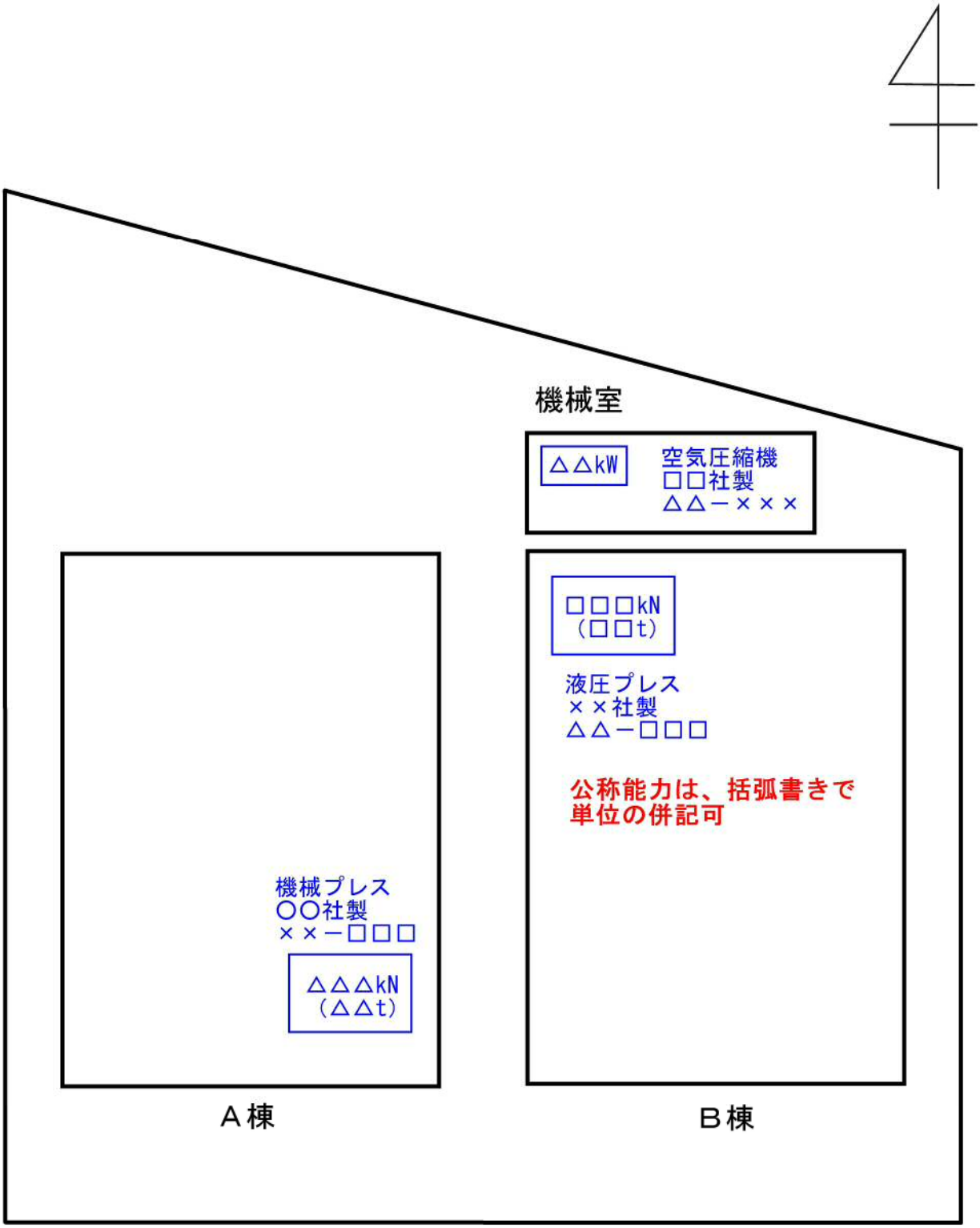
特定施設 指定施設の種類 指定作業	型　式	公称能力	数		使用開始時刻		使用終了時刻	
			変更前	変更後	変更前 (時･分)	変更後 (時･分)	変更前 (時･分)	変更後 (時･分)
施設が増減する場合または施設の数に変更がない場合（変更部分のみ前後の数、時刻を変える）								
１－イ　液圧プレス	○○社製 △△－×× △△－○○	○○kN	2	1	8:30	8:30	17:30	19:00
2　圧縮機	□□社製 △△－○○	△△kW	1	1	8:30	8:30	17:30	19:00
施設の新設を伴う変更の場合								
１－ロ　機械プレス	○○社製 ××－□□	□□kN	0	1	－	8:30	－	19:00
施設の廃止を伴う変更の場合（施設を全て廃止する場合は特定施設使用全廃届）								
2　圧縮機	□□社製 △△－○○	△△kW	1	0	8:30	－	17:30	－

記入例

付近の見取図



敷地境界と周辺環境（施設周辺の建物の用途）を明記

記入例

特定施設の配置図